

## 2014 年度 入学 試験 問題

# 日本史 B

(試験時間 13:15~14:15 60分)

1. この問題は、入学願書提出時に選択した科目の問題です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙とマーク解答用紙の2種類がありますので注意してください。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。なお、解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。特に、マーク解答用紙には鉛筆のあとや消しくずを残さないでください。また、折りまげたり、汚したりしないでください。記述解答用紙の下敷きにマーク解答用紙を使用することは絶対にさけてください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。
6. マーク解答用紙の受験番号および受験番号のマーク記入は、コンピュータ処理上非常に重要なので、誤記のないよう特に注意してください。

# 莊史本目

(卷一) 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十

一、莊史本目

二、莊史本目

三、莊史本目

四、莊史本目

五、莊史本目

六、莊史本目

七、莊史本目

八、莊史本目

九、莊史本目

十、莊史本目

I つぎの(1)と(2)の文章を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、マークすべきところはもっとも適切な語句、記述または配列を一つ選んで、その記号をマークしなさい。(26点)

(1) 710年、(A) 天皇が藤原京から平城京への遷都を行い奈良時代がはじまった。奈良時代は律令によって国家が運営され、712年には新たに一国が分置されるなど、天皇が統治する領域を拡大する動きも強められた。また、国家制度が整ったこの時代の政界では、藤原氏、皇族、皇族出身の貴族や上皇に寵愛された僧が政争などによって入れ替わり政権の座についていた。

そして、奈良時代の末期には、動揺するようになった律令制度を再建しようとする天皇主導の政治が行われ、長岡京、さらに平安京へ遷都されて平安時代を迎え、平安時代の初期には、天皇が積極的に政治改革を進めた。

④ しかし、9世紀半ばより藤原氏北家が他氏族を排斥しつつ、天皇との結びつきを強めると、天皇主導の政治は次第に変化し、10世紀後半から11世紀半ばころには摂関政治が行われた。また、11世紀の半ばには各地に寄進地系荘園がみられるようになり、土地制度も大きく変化した。

問1 空欄Aにあてはまる天皇の名を記しなさい。

問2 下線部①の時代の文化を天平文化と呼ぶが、つぎの天平文化の時代に建てられた建築物ア～オから、貴族の邸宅を移築したと考えられているものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 法隆寺伝法堂
- イ. 法隆寺夢殿
- ウ. 唐招提寺講堂
- エ. 唐招提寺金堂
- オ. 東大寺法華堂

問3 下線部②の国名として正しいものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 陸奥
- イ. 大隅
- ウ. 出羽
- エ. 丹後
- オ. 美作

問4 下線部③に該当する人物についてのつぎの記述ア～オから、正しいものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 藤原鎌足の子であった不比等が、右大臣となって養老律令の編纂に従事し、その娘の宮子は聖武天皇の夫人となった。
- イ. 藤原武智麻呂らの四兄弟が策を用いて長屋王を自殺させたあと、武智麻呂の娘の光明子が文武天皇の皇后となった。
- ウ. 橘諸兄は、唐から帰国した吉備真備や僧旻を顧問にして政治運営を行った。
- エ. 孝謙上皇から恵美押勝の名を賜った藤原仲麻呂は、道鏡を除こうとして挙兵したが、逆に破れ滅ぼされた。
- オ. 称徳天皇没後、藤原氏式家出身の藤原百川らにより、天智系の皇孫が迎えられて光仁天皇となった。

問5 下線部④の時期には中国から新たな仏教が伝えられたが、その伝えられた仏教に関するつぎの記述ア～オから、正しいものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 唐から帰国した最澄は天台宗をひらき、嵯峨天皇から大乘戒壇の設立を許可され、没後に清和天皇から伝教大師の諡号を贈られた。
- イ. 最澄に遅れて唐から帰国した空海は、高野山に金剛峯寺をたて真言宗をひらき、嵯峨天皇から教王護国寺を与えられた。
- ウ. 最澄の弟子であった円珍は、唐から帰国したのちに天台座主となったが、円珍にはじまる門流をのちに山門派とよんだ。

エ. 天台宗における密教を東密, 真言宗の密教を台密といい, ともに加持祈祷を行って除災招福などを求めた。

オ. 曼荼羅は密教において描かれた絵画で, 人の臨終に際して来迎する阿弥陀如来の姿が描かれた。

問6 下線部⑤の様相がみられた時代に在位したつぎの天皇 a ~ e について, 即位の順に正しく配列されたものを, 下のア~オから一つ選び, その記号をマークしなさい。

a. 朱雀

b. 光孝

c. 村上

d. 清和

e. 宇多

ア. a → b → c → d → e

イ. b → d → e → a → c

ウ. b → e → d → c → a

エ. d → b → e → a → c

オ. d → b → e → c → a

問7 下線部⑥の荘園の一つであり, 東寺百合文書に, 肥後国で寿妙が開発したことが記されている荘園の名称を, 漢字で記しなさい。

- (2) 1180年に挙兵した源頼朝は, 源義仲を討ち, 平氏を滅亡させて1185年に鎌倉幕府<sup>⑦</sup>を確立し, 奥州藤原氏を滅亡させ, 1192年に征夷大将軍に任ぜられて名実ともに鎌倉幕府を成立させた。頼朝が1199年に没すると, 有力御家人<sup>⑧</sup>の間に争乱がおこったり, 源氏将軍が断絶する事態となり, さらに後鳥羽上皇の挙兵によって承久の乱がおこって幕府は動揺した。しかし, 承久の乱では御家人らが結集して上皇側を圧倒して幕府側が勝利し, 乱後には西国を中心にして新たに地頭が置かれ, 段別 ( B ) の加徴米徴収などを認める新補率法も定められ幕府の力は強まった。そ

して、3代執権となった北条泰時は新たな施策を行って執権政治を確立し、5代執権北条時頼が執権政治を強化して、幕府は安定する時期を迎えた。

その後、時頼の子の時宗が8代執権を務める時代になると元が襲来し、幕府は危機の時期を迎えた。元による日本への侵攻は、三別抄の乱が平定された翌1274年と、南宋滅亡後の1281年の2回行われたが、暴風雨や御家人らの奮戦などがあって侵攻は成功せず、このため日本は元に服属することはなかった。元による2回目の襲来ののちも幕府は襲来に備えていたが、時宗が没すると、その子の（C）が執権となり、元の襲来を契機に強まった北条氏や得宗の力をより強め、得宗による専制的な政治が行われるようになった。

問8 下線部⑦の時期におこったつぎの出来事a～eについて、古いものから年代順に正しく配列されたものを、下のア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. 寿永二年十月宣旨が出された。
  - b. 平清盛が没した。
  - c. 侍所が設けられた。
  - d. 屋島の戦いが行われた。
  - e. 源義経が衣川で自刃した。
- ア. b→a→c→d→e
  - イ. b→a→c→e→d
  - ウ. b→c→a→d→e
  - エ. c→b→a→d→e
  - オ. c→b→d→a→e

問9 下線部⑧であったつぎの人物ア～オから、内管領に滅ぼされた人物を一人選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 比企能員
- イ. 畠山重忠
- ウ. 和田義盛

エ. 三浦泰村

オ. 安達泰盛

問10 空欄Bにあてはまる二字を、算用数字一字と単位を示す漢字一字で記しなさい。

問11 下線部⑨の時期におこった出来事として正しいものを、つぎの記述ア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

ア. 1232年に鎌倉幕府の役職として評定衆が設けられ、有力御家人らが任命された。

イ. 九条頼嗣は4代将軍となったが、のちに執権と対立したため、将軍職をその子に譲られ、鎌倉から京都に送り返された。

ウ. 御成敗式目は、北条時頼が執権であった時代に17か条が追加され、全部で51か条の法令となった。

エ. 所領をめぐる御家人らの訴訟に対応するために設けられた引付衆には、裁定を下す権限が与えられた。

オ. 6代将軍となった宗尊親王は後嵯峨天皇の皇子であり、鎌倉幕府における最初の皇族将軍であった。

問12 下線部⑩の時代前後から農業が発達したが、そのようななかで栽培された、灯油の原料となった作物を何というか。作物の名称を漢字で記しなさい。

問13 空欄Cにあてはまる人物の姓名を記しなさい。

II つぎの(1)の文章と(2)の史料を読んで、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、マークすべきところはもっとも適切な組合せまたは配列を一つ選んで、その記号をマークしなさい。なお、史料は読みやすいように一部書き改めてある。(14点)

(1) 1716年、徳川宗家を継いで将軍となった徳川吉宗は幕政改革を断行した。吉宗は家康の時代の政治を理想とし、徳川綱吉以来の側近政治を改めるなどさまざまな施策を行い、悪化していた幕府財政を好転させるなどの大きな成果を収めた。

しかし、改革がおわって18世紀後半になると、再び財政が行き詰まるようになった。また、このころには村々で( A )が頻発し、江戸などの都市では生活に困窮する人々も増えた。さらに、大飢饉のおこった( B )年間には百姓一揆や打ちこわしが各地に発生して、幕府や諸藩は百姓一揆などへの対応に苦慮するようになった。

このため、再び政治を立て直すための幕政改革が1787年から行われ、吉宗の孫であった松平定信が改革を主導した。

問1 下線部①の人物が将軍であったころを中心にみられた文化を元禄文化と呼ぶが、つぎの元禄文化の時代の著作とその著者との組合せア～オから、誤っている組合せを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- |              |   |      |   |
|--------------|---|------|---|
| ア. 『古史通』     | — | 新井白石 | - |
| イ. 『大学或問』    | — | 熊沢蕃山 | - |
| ウ. 『源氏物語湖月抄』 | — | 契沖   | - |
| エ. 『政談』      | — | 荻生徂徠 | - |
| オ. 『中朝事実』    | — | 山鹿素行 | - |



問2 下線部②の時期から来航するようになった外国船に関するつぎの記述 a～e について、古いものから年代順に正しく配列したものを、下のア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- a. モリソン号が浦賀沖で砲撃された。
- b. フェートン号が長崎港に侵入した。
- c. ラックスマンが根室に来航した。
- d. レザノフが長崎に来航した。
- e. ビッドルが浦賀に来航した。

ア. c→b→d→e→a

イ. c→d→b→a→e

ウ. c→d→b→e→a

エ. d→c→a→b→e

オ. d→c→b→a→e

問3 空欄Aには、村の運営をめぐる村役人らと小百姓らの間でおこった紛争を示す言葉が入る。あてはまる名称を記しなさい。

問4 空欄Bには、浅間山が大噴火した年の年号が入る。あてはまる年号を記しなさい。

(2) 史料

在方ざいかたの者えいでい当地なれそろう江出居したが，馴たちもどり候ねんりよ二随たやひ，故郷そのま二立ま戻候にんべつ念慮くわわを絶し，其儘人別くわわ二加くわわり候もの年あいまを追あいまい相増あいまし，在方人別あいはり相減候おもむきあいきこ趣しか相聞しかえ，然るべからざる儀つき二付こんばん，今般こんばん悉ことごとく相改あいらため残おおらず帰郷いだい仰いだいせ出いだいさるべき処ところ，商売等相始ところめ，妻子等持候者も，一般きんぱん二差きんぱん戻きんぱん二相成候ては，難なん渋じゆ致ういたすべき筋ご二付じんけい，格別ごの御仁恵もってを以これ，是迄ま年来人別くわわ二加くわわり居おり候分ぶんハ，帰郷ごの御沙汰きた二ハ及かたばれず，以後取締方左かたの通り仰かたせ出かたされ候。

一 在方しんじやうのもの身あいま上あいま相仕舞あいまい，江戸人別いり二入いり候儀じこん，自今以後決けつして相成じこんらず。

(中略)

一 近年御府内江入込みごふない，裏店等借請け居り候者の内いり二ハ，妻子等も之無くこれ，一期住み同様のものも之有るべし。左様の類ハ早々村方江呼戻し申すべき事いっ。

(中略)

右の通り相触れらるべく候

三月

問5 この史料は、江戸幕府から出された法令の一部を示したものである。この史料に示した法令の名称を記しなさい。

問6 この史料に示した法令が出された時の将軍の姓名を記しなさい。

問7 この史料に示した法令が出された年の年号を記しなさい。

III つぎの(1)～(3)の文章について、それぞれの設問に答えなさい。解答は、漢字を用いるべきところは正確な漢字で記入し、マークすべきところはもっとも適切な語句を選んで、その記号をマークしなさい。(30点)

(1) 明治初期の文明開化のなかで、欧米の思想が紹介されるようになった。1873年には、a森有礼、福沢諭吉、中村正直、西周らがb明六社を結成し、翌年から『明六雑誌』を発行した。こうした風潮は、活字印刷の実用化によってさかんになった出版活動によって、大都市に限られたことではあったが、一般大衆の知るところとなった。日本最初の日刊新聞『( A )』が発刊されたのも、この時期であった。

問1 下線部 a について、この人物が1885年に文部大臣を拝命したさいの内閣総理大臣の氏名を記入しなさい。

問2 下線部 b について、この組織が普及を目的としたのはどの主義・思想か。適切な語句をつぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 封建思想
- イ. 日本主義
- ウ. 愛国思想
- エ. 啓蒙思想
- オ. 国家主義

問3 明六社が結成された1873年の「明治六年の政変」において、西郷隆盛らとともに下野した参議で、後に「佐賀の乱」をおこした人物の氏名を記入しなさい。

問4 空欄Aに入る適切な語句をつぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 東京日日新聞
- イ. 横浜毎日新聞
- ウ. 大阪毎日新聞
- エ. 東京横浜毎日新聞
- オ. 中央新聞

問5 遣外使節とともにフランスに留学後、『東洋自由新聞』で自由民権論を説き、東洋のルソーと呼ばれた人物の著作として正しいものをつぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 『天賦人権論』
- イ. 『民約訳解』
- ウ. 『人権新説』
- エ. 『天賦人権弁』
- オ. 『民権自由論』

(2) 1887年には、岡倉天心らの尽力によって（ B ）が設立され、美術の発展が促された。伝統美術の保護に重点をおいたため西洋美術は除外されていたが、フランスから帰国した黒田清輝らの活躍により西洋画が時流に乗ると、1896年、（ B ）に西洋画科が増設された。後には仁科会や春陽会が結成され、安井曾太郎<sup>c</sup>、梅原竜三郎、岸田劉生らが活躍した。日本画では、1898年に岡倉天心らが中心となって（ C ）が創立され、菱田春草、横山大観、下村観山らが活躍した。政府は伝統美術と西洋美術をともに奨励するために、1907年、第一回文部省美術展覧会（文展）<sup>d</sup>を開催した。

問6 空欄Bに入る適切な語句を記入しなさい。

問7 下線部cの画家とその美術作品の組み合わせア～エから、正しいものを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 安井曾太郎 — 『金蓉』
- イ. 梅原竜三郎 — 『麗子微笑』
- ウ. 岸田劉生 — 『紫禁城』
- エ. 安井曾太郎 — 『道路と土手と土塀』

問8 空欄Cに入る適切な語句を記入しなさい。

問9 下線部dが1919年に改組された際の名称を漢字二文字で記入しなさい。

問10 つぎの明治期に活躍した画家とその美術作品の組み合わせア～エから、誤っている組み合わせを一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 菱田春草 — 『黒き猫』
- イ. 青木繁 — 『海の幸』
- ウ. 黒田清輝 — 『鮭』
- エ. 狩野芳崖 — 『悲母観音』

(3) 文学では、e ロマン主義や、f 自然主義が、それぞれ明治20年代と明治30年代に主流となった。1916年には河上肇が『貧乏物語』を著し、( D )文学の先駆けとなった。社会運動や労働運動が高揚すると、1921年には雑誌『種蒔く人』が、1928年には『戦旗』がそれぞれ創刊され、( D )文学運動を牽引した。

問11 下線部 e について、この潮流の母体となった文芸誌の名称をつぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 『アララギ』
- イ. 『中央公論』
- ウ. 『万朝報』
- エ. 『文学界』
- オ. 『国民之友』

問12 下線部 e について、この潮流の母体となった文芸誌に『たけくらべ』を発表した人物の氏名を記入しなさい。

問13 下線部 f について、この潮流に位置づけられる作家と作品の組み合わせが正しくないものを、つぎのア～オから一つ選び、その記号をマークしなさい。

- ア. 島崎藤村 — 『破戒』
- イ. 田山花袋 — 『蒲団』
- ウ. 国木田独歩 — 『田舎教師』
- エ. 徳田秋声 — 『あらくれ』
- オ. 正宗白鳥 — 『何処へ』

問14 空欄Dに入る適切な語句を記入しなさい。

問15 日清戦争前後の社会運動・労働運動の一例として、足尾鉍毒事件がある。田中正造とともに銅山の操業停止に関する世論喚起につとめ、廃娼運動などに尽力し、小説『火の柱』を著した人物の氏名を記入しなさい。

IV つぎの文章（A～H）中の空欄（a～h）に入れるのもっとも適切な語句を考え、漢字を用いるべき所には正確な漢字で、記入しなさい。人名は姓名を記しなさい。また、設問（①～⑦）については、もっとも適切なものをそれぞれ一つ選び、その記号をマークしなさい。（30点）

A. 大正デモクラシー運動の高まりの中で、東京帝国大学を卒業した法学士（ a ）〔人名〕は、1912年に友愛会を創立した。綱領には、相愛扶助、知徳と技術の向上、協力の力による地位の改善が掲げられた。

B. 第一次世界大戦後の軍縮の気運の中で、1922年に締結されたワシントン海軍軍縮条約について、1930年にはロンドン海軍軍縮条約が調印された。しかし、条約の批准に強硬に反対する勢力が続出し、批准は難航した。この時の日本の外務大臣は（ b ）であった。

C. 1931年に関東軍が起した満州事変の結果、1932年には満州国が建国された。同年9月に調印された（ c ）により、日本はこれを正式に承認した。しかし、このことにより、アメリカと国際連盟諸国の対日不信感が助長された。

D. 1941年6月、ドイツは対ソ戦を開始し、ソ連領内に深く進攻した。この情勢を見て、日本は、7月の御前会議で「情勢の推移に伴ふ帝国国策要綱」を決定した。これに基づいて日本軍は（ d ）〔漢字4字〕に進駐した。

E. 1940年の新体制運動の結果、すべての政党がなくなり、大政翼賛会が結成され、総裁には（ e ）〔人名〕が就任した。1942年には、翼賛選挙が実施され、政府の援助を受けた推薦候補が絶対多数を獲得した。

F. 1945年3月10日未明、アメリカ軍は、東京の下町の人口密集地に1700トンもの（ f ）〔漢字3字〕を投下したため、一夜のうちに約10万人が焼死した。これを東京大空襲という。

G. 1946年、極東国際軍事裁判（東京裁判）が開廷され、2年半の審理の後、1948年に判決が出された。この裁判では、「( g )」・「人道に対する罪」・「通例の戦争犯罪」が裁かれたが、「人道に対する罪」で有罪となった者はいなかった。

H. 1944年に一兵士としてフィリピンのミンドロ島に出征した（ h ）は、1945年に米軍と戦い、山中を彷徨した。戦後、彼は、この時の体験を記した『俘虜記』を発表し、作家として出発した。他に『武蔵野夫人』『野火』『レイテ戦記』など多くの作品がある。

〔設問〕

①Aについて、友愛会は何度か会名を変更したが、1921年にはどの名称になったか。

- ア. 日本労働組合評議会
- イ. 日本労働総同盟
- ウ. 日本労働組合総評議会
- エ. 日本労働組合総同盟
- オ. 全日本産業別労働組合会議

②Bについて、もっとも適切なものはどれか。

- ア. 海軍軍令部は条約批准に賛成したが、海軍省は強硬に反対した。
- イ. この批准問題により、犬養毅首相は海軍将校に襲撃され、暗殺された。
- ウ. 当時の憲法解釈の通説では、兵力量の決定は憲法第1条の統帥大権に属するとされていたから、政府が海軍の意向を押し切って兵力量を決定したのは「統帥権の干犯」だといわれると、抗弁は困難だった。
- エ. この条約では、日本の補助艦保有総トン数の対米7割は認められたが、大型巡洋艦の対米7割は認められなかった。
- オ. この条約は、難航の末、1930年中に帝国議会の議決により批准された。



③Cについて、満州国を承認したときの内閣はどれか。

- ア. 第二次若槻内閣
- イ. 犬養内閣
- ウ. 斎藤内閣
- エ. 岡田内閣
- オ. 広田内閣

④Dについての説明として間違っているものはどれか。

- ア. この御前会議の決定により、対ソ開戦準備のため、関東軍特種演習という名目で動員が行われた。
- イ. 日本軍のこの進駐により、アメリカは対日石油全面禁輸の措置をとった。
- ウ. 日本軍のこの進駐の直前に、アメリカは対日資産凍結の措置をとった。
- エ. この決定と進駐の後に、御前会議が4回開催されたが、日米交渉は妥結に至らず、12月8日の対米英開戦になった。
- オ. この御前会議の決定には、対英米戦を辞せずという文言が記されていた。

⑤Eについて、翼賛選挙の推薦候補となった者はどれか。

- ア. 芦田均
- イ. 鳩山一郎
- ウ. 片山哲
- エ. 尾崎行雄
- オ. 岸信介

⑥ Fに関連して、空襲の説明で間違っているものはどれか。

- ア. アメリカ軍は日本本土に対する空襲では1944年11月から、住宅を焼き払い、非戦闘員を殺傷する無差別爆撃を開始した。
- イ. 日本軍は、1940年頃には重慶に対する無差別爆撃を行った。
- ウ. 東京大空襲を行ったB29爆撃機は、マリアナ諸島の基地から発進した。
- エ. ドイツ軍は、1940年にロンドンに対する無差別爆撃を行った。
- オ. イギリス軍・アメリカ軍は、ドレスデンなどに対する無差別爆撃を行った。

⑦ Gについて、もっとも適切なものはどれか。

- ア. 文官では、近衛文麿元首相が、日中戦争開戦の責任を問われて終身禁固の判決を受けた。
- イ. オランダのレーリンク判事だけが、多数派判決に反対意見を書いた。
- ウ. 木戸幸一元内大臣は無罪となった。
- エ. 松岡洋右元外相は、日独伊三国同盟締結の責任をとわれ、死刑となった。
- オ. 死刑の判決を受けたのは、東条英機元首相をはじめ7名だった。



